

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	神戸市立ひまわり学園		
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年12月3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	2024年11月18日		～ 2024年12月3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	2024年11月1日		～ 2024年12月3日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性等に応じた専門性のある支援	長年の経験を活かした保育士等の専門性に加え、言語聴覚士や作業療法士、理学療法士との連携やセンター内の医師、多職種による連携のもと、こどもの一人一人の特性に合ったかわりに取り組んでいる。	職員の資質向上のため、幅広い研修の参加や関係機関と事例検討会等を積極的に行い、具体的な支援方法の共有を図る。
2			
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員(職種や人数)体制	児童発達支援と併用した職員内で柔軟な応援体制をとっている。	さらに、職員体制の工夫に努める。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名		神戸市立ひまわり学園				公表日	2025年 2月 14日			
		利用児童数				5		回収数	5	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	4	0	0	1		引き続き、適切な教具教材に努めるとともに、訪問先においても取り入れやすい内容を提案できるよう努める。		
	2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	5	0	0	0		引き続き、適切なスペースを確保するとともに、使い方の工夫を行い、プライバシーを徹底する。		
	3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	5	0	0	0		契約時に支援内容や利用者負担額等の必要事項について説明を行っている。引き続き、支援内容や利用者負担等について、利用者への丁寧でわかりやすい説明に努める。		
	4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	5	0	0	0		訪問先に確認のうえ訪問日は決定している。		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	5	0	0	0		引き続き、適切な職員配置に努める。		
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	1	0	0		研修内容等を工夫しながら、引き続き、職員の資質向上のための取り組みを行う。		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5	0	0	0		引き続き、適切なアセスメントに基づいた支援計画の作成に努める。		
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	5	0	0	0		アセスメント時に保護者と訪問先施設及び担任に事前に意見を確認のうえ作成している。		
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	0	0	1		保育所等訪問支援ガイドラインで示された支援内容をもとに、一人ひとりのこどもの特性に応じた項目設定と具体的な支援内容を記載した計画の作成に努める。		
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0		支援計画の内容に基づき、目標達成に向けた支援を行っている。引き続き、支援計画に沿った適切な支援を行う。		
保 護 者 へ の 説 明 等	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	4	1	0	0		引き続き、適切な支援に努める。		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5	0	0	0		契約時に支援内容や利用者負担額等の必要事項について説明を行っている。引き続き、支援内容や利用者負担等について、利用者への丁寧でわかりやすい説明に努める。		
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	0	0	0		支援計画の趣旨や支援内容について、引き続き、利用者への丁寧で分かりやすい説明に努める。		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	3	1	1	0		引き続き、保護者の対応力の向上を図るための支援の充実に努めるとともに、支援が伝わりやすい工夫を行っていく。		
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	4	1	0	0		引き続き、こどもの発達状況や課題について、保護者との共通理解が徹底できるように努める。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	0	0	0		引き続き、保護者からの相談に対して、適切な対応と必要な助言の実施に努める。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	1	0	0		こどもの発達状況や課題について、保護者との共通理解が徹底できるように努める。		
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	1	0	0		迅速かつ適切に対応する。		
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	0	0	0		相手方の障害特性に応じて、適切な意思疎通や情報伝達ができるよう配慮を行う。		

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	4	1	0	0		引き続き、訪問先からの相談に対して、適切な対応と必要な助言の実施に努める。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	5	0	0	0		引き続き、訪問先と支援内容を情報共有し、支援の充実に努める。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	5	0	0	0		訪問支援後に実施した内容を適切に保護者へ共有していく。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	2	0	1		引き続き、活動内容や連絡体制等について利用者に理解を深めてもらえるように、情報発信を行っていく。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	0	0	0		全職員に対して、個人情報の取扱いに関する研修を実施し、日々の業務における適切な取扱いを徹底している。引き続き、個人情報の適切な取扱いを徹底する。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4	0	0	1		情報共有・連携の徹底に努めている。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	0	0	1		保護者に連絡のうえ説明し、必要な対応を行っている。引き続き、迅速かつ適切に対応する。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	5	0	0	0		
	28	事業所の支援に満足していますか。	4	1	0	0	・登下校の様子も見ただけだとスムーズに行動出来たり改善できるかもしれません。	子どもの発達状況や課題の理解、保護者との共通理解が徹底できるように努め、支援内容に反映し改善に努める。

公表	訪問先施設からの事業所評価の集計結果
----	--------------------

事業所名	公表日
神戸市立ひまわり学園	2025年 2月 14日
	利用児童数
	5      回収数      5

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字の理解がしやすいと教えていただき、支援につなげることが出来た。</li> <li>・園にあわせて方法を教えてくださるのでとても分かりやすく取り入れている。</li> <li>・児童が困ったときのような声掛けが有効なのか具体的に分かりやすかった。</li> </ul>	こどもと保護者の状況やニーズを把握するために十分なアセスメントを実施し、訪問先との情報共有のうえ支援計画を作成している。支援計画の趣旨や支援内容について、引き続き、丁寧で分かりやすい説明に努める。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的な視点でいろいろ教えてくださるのでとても勉強になる。</li> <li>・具体的な手立てを提示していただいたことでほかの児童にとっても助かった。</li> </ul>	研修内容等を工夫しながら、引き続き、職員の資質向上のための取り組みを行う。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練、行事についてご相談させていただいた。</li> <li>・的確に答えてくださる。</li> <li>・的確なアドバイスがいただけた。</li> </ul>	引き続き、質問や相談に対して、適切な対応と必要な助言の実施に努める。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との関りなどで助けていただいで関係が良くなった。</li> <li>・児童のことが入学してすぐは分からないところもこれまでのことを良く知った先生に教えていただけたことで安心して指導できた。</li> </ul>	引き続き、情報共有を含め一人ひとりのこどもの特性等に応じた適切な支援に努める。
5	事業所からの支援に満足していますか。	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても丁寧に助言して下さり、有難い。</li> </ul>	引き続き、一人ひとりのこどもの特性等に応じて情報共有しながら適切な対応と必要な助言の実施に努める。

其他のご意見	ご意見を踏まえた対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・園での様子を教えていただいたり、保護者の方々とのお話を伝えていただけて、保護者の方の不安を知ることや子どもへの支援方法の検討しやすくなったと感じている。</li> <li>・医ケア児の成長も日々変化しているので定期的な訪問は大変ありがたい。ひまわり学園と保育所での支援方法を共有し、助言いただくことで支援がしやすくなった。行事でのこどもの動きの相談にもっていただき、楽しく安全に参加することが出来た。専門的な支援をいただけるので、大変有難い。</li> <li>・本人の出来ること、課題であること、どのような言葉かけ、支援が必要かなど、4、5月は本児のことを理解できていない時期に訪問していただけたことで助かり勉強になった。また、知りえたことをなかよし担で共有し、指導出来たとともに同じ声掛けが出来て良かった。丁寧に質問にも答えていただき、保護者も先生のことを信頼されているので来校されたときにアドバイスをいただいたことを保護者とも共通理解が出来、繋いでいただいたように思う。</li> <li>・保護者の悩みや不安を共通理解することで保護者へのかかわり方も改善していくことが出来た。</li> </ul>	<p>研修内容等を工夫しながら、引き続き、職員の資質向上のための取り組みを行い、情報共有を含め一人ひとりのこどもの特性等に応じた適切な支援に努める。</p>

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		神戸市立ひまわり学園		公表日		2025年 2月 14日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・整備・運営・体	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		環境設定に必要なものを用意してくれたり、協力的である。 ・教員教材を訪問支援で用紙することはないが、視覚を用意して提案することはある。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員内で柔軟な応援体制をとっている。	引き続き、職員体制の工夫に努める。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		職員の積極的な参画を促しながら、PDCAサイクルによる業務改善に努めている。	引き続き、職員の積極的な参画を促しながらPDCAサイクルによる業務改善に努める。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員間で保護者等の意向を確認する機会を設ける。	引き続き、評価アンケート等での意見を取り入れ、業務改善につなげていく。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		面談等で意見を集約し、会議等にて検討うえ業務改善につなげていく取り組みを行っている。	引き続き、職員が意見を述べやすいような機会を設け、業務改善につなげていく。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	第三者による外部評価は実施していない。	今後の検討課題とする。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		施設内研修や外部施設での実習を実施するとともに、他団体が主催する研修へも積極的に参加している。	研修内容等を工夫しながら、引き続き、職員の資質向上のための取り組みを行う。	
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		子どもと保護者の状況やニーズを把握するために十分なアセスメントを実施し、支援計画を作成している。	引き続き、適切なアセスメントに基づいた支援計画の作成に努める。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		各職員が連携・情報共有して、子どもの特性や発達段階等に応じた活動プログラムを立案している。	引き続き、各職員が連携して、チーム全体での活動プログラムの立案に努める。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		作成時に話し合うことは時間の関係等でできていないが、説明時に意向を確認し、場合によっては見直しを行うようにしている。	引き続き、適切なアセスメントに基づいた支援計画の作成に努める。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画の内容に基づき、目標達成に向けた支援を行っている。	引き続き、支援計画に沿った適切な支援を行う。	
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		支援等の記録や日々の記録等を基に子どもの状況を確認している。	引き続き、様々な方法で子どもの状況を確認していく。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		一人ひとりの子どもの特性に応じた支援項目を設定し、具体的な支援内容を記載した計画を作成している。	引き続き、児童発達支援ガイドラインで示す支援内容から、一人ひとりの子どもの特性に応じた支援に必要な項目を適切に選択し、具体的な支援内容の設定に努める。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		各職員が連携・情報共有して、子どもの特性や発達段階等に応じた活動プログラムを立案している。	引き続き、各職員が連携して、チーム全体での活動プログラムの立案に努める。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		職員体制上、訪問は職員一人であるが事前に確認や検討のうえ支援を行っている。	支援内容や職員間の役割分担、個々の子どもに対する配慮事項等についての確認を行い、チームで連携して支援を行う体制に努める。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼や職員間のミーティングを通じて、日々の支援内容や職員間の役割分担、個々の子どもに対する配慮事項等についての確認を行っている。	引き続き、職員間での十分な情報共有を行い、必要事項の確認を徹底する。		
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		各職員が連携・情報共有して、訪問先の理念や支援手法を尊重のうえ実施するよう努めている。	訪問先と支援内容について情報共有し、個々の子どもに対する配慮事項等についての確認を行い、チームで連携して支援を行う体制に努める。		

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		日々の支援内容について適切に記録を作成し、随時、支援内容を検証するとともに、必要に応じて改善を行っている。	引き続き、日々の支援内容についての適切な記録、支援内容の検証、改善に努める。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを実施し、子どもの状態を適切に把握したうえで、必要に応じて支援計画の内容を見直している。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		相談支援事業所が絡んでいないケースがほとんどのため、連携会議は持っていない。	引き続き、適切な時期にモニタリングを実施し、子どもの状況に応じて支援計画の見直しを行う。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて、当該児童が利用している保育所や他の事業所との連携・情報共有を行っている。	引き続き、地域の関係機関と連携した支援を行っていく。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		移行先の保育所・幼稚園や学校の職員との懇談や見学会等を通じて、個々の子どもの支援内容についての情報共有を行っている。	引き続き、保育所・学校等と十分に連携して、円滑な移行支援に努める。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		施設内研修や外部施設での実習を実施するとともに、他団体が主催する研修へも積極的に参加している。	研修内容等を工夫しながら、引き続き、職員の資質向上のための取り組みを行う。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		こども部会や地域の特別支援学校等の評価委員会に参加している。	引き続き、こども部会等に参加し、地域の関係機関との連携に努める。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		定期的に個別懇談を実施するほか、れんらくーるの活用等により、子どもの日々の状況や課題について、保護者との共有に努めている。	引き続き、子どもの発達状況や課題について、保護者との共通理解が徹底できるように努める。
26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		保護者を対象とした研修や個別懇談を実施している。	引き続き、保護者の対応力の向上を図るための支援の充実に努めるとともに、支援が伝わりやすい工夫を行っていく。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に支援内容や利用者負担額等の必要事項について説明を行っている。	引き続き、支援内容や利用者負担等について、利用者への丁寧でわかりやすい説明に努める。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		契約前や訪問日時を決定する際に支援内容や目的について説明を行っている。	引き続き、支援内容や目的について、利用者への丁寧でわかりやすい説明に努める。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的に個別懇談を実施するほか、れんらくーるの活用等により、子どもの日々の状況や課題について、保護者や訪問先との共有に努めている。	引き続き、子どもの発達状況や課題について、保護者と訪問先との共通理解が徹底できるように努める。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		支援計画の趣旨や支援内容について、保護者が十分理解できるように説明を行い同意を得ている。	引き続き、支援計画の内容について、利用者への丁寧で分かりやすい説明に努める。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的に個別懇談を実施するほか、れんらくーるの活用等により、子どもの日々の状況や課題について、保護者との共有に努めている。	引き続き、保護者からの相談に対して、適切な対応と必要な助言の実施に努める。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		児童発達支援においては、クラス毎の行事の中で保護者同士のつながりや一部のクラスではきょうだいや祖父母の交流が持てるよう支援しているが、保育所等訪問支援においては実施していない。	保護者の意見を聞きながら保護者同士の連携や交流が促進できるような取り組みを模索していく。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		迅速に対応し、必要な説明等を行うよう努めている。	引き続き、利用者からの相談や申し入れについては対応周知に努めるとともに、迅速かつ適切に対応する。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月、行事予定表を発行するほか、必要に応じてお知らせ文等を配布するとともに、連絡帳や配信ツール(れんらくーる)を活用している。	引き続き、活動内容や連絡体制等について利用者に理解を深めてもらえるように、情報発信を行っていく。
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		全職員に対して、個人情報の取扱いに関する研修を実施し、日々の業務における適切な取扱いを徹底している。	引き続き、個人情報の適切な取扱いを徹底する。	
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚支援の観点による工夫や、連絡帳や配信ツール(れんらくーる)の活用等により、意思疎通や情報伝達が適切に行われるように配慮している。	引き続き、相手方の障害特性に応じて、適切な意思疎通や情報伝達ができるように配慮を行う。	
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問支援時に振り返りを実施するほか、電話を活用するなど、子どもの日々の状況や課題について、訪問先との共有に努めている。	引き続き、訪問先からの相談に対して、適切な対応と必要な助言の実施に努める。

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○	訪問支援時に振り返りを実施するほか、電話を活用するなど、子どもの日々の状況や課題について、訪問先との共有に努めている。	引き続き、訪問先とのカンファレンスを通して情報共有に努めるとともに、適切な対応と必要な助言の実施に努める。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○	訪問支援後に支援内容を電話や配信ツール（れんらくーる）を活用し共有に努めている。	引き続き、当所の活動内容や連絡体制等について利用者に理解を深めてもらえるように、情報共有を行っている。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	訪問先に対して、個人情報の取扱いに関して、日々の業務における適切な取扱いを徹底するよう注意喚起している。	引き続き、個人情報の適切な取扱いを徹底する。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○	訪問支援時や電話を活用するなど、子どもの日々の状況や課題について相談を受け、助言を行っている。	引き続き、訪問先からの相談に対して、適切な対応と必要な助言の実施に努める。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	緊急対応等に関するマニュアルを作成し、職員に周知徹底するとともに、契約書・重要事項説明書等に必要事項を記載して保護者へお知らせしている。	緊急時等の対応についてのマニュアル内容については随時見直しを行い、適切な対応についての周知徹底を図る。また、定期的に必要な訓練を実施していくとともに、目的・内容等について保護者に周知する。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画を作成し、研修や訓練等を行い、十分な安全管理の中で支援を行っている。	引き続き、研修や訓練等を行い、安全管理が十分された中で支援に努める。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	該当する事例が発生した場合は、ヒヤリハット報告書を作成し、事業所内で共有を徹底し、再発防止に努めている。また、外部での事例についても共有している。	引き続き、ヒヤリハット事例の共有を徹底し、事故の発生防止に努める。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	全職員に対して、虐待防止のための研修を実施している。また、神戸市立児童発達支援センターの園長による虐待防止委員会を開催し、情報共有を図っている。	引き続き、全職員に対して虐待防止のための研修を実施し、意識向上を図る。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	やむを得ずに行う場合は組織的な決定に基づくものとするとともに、保護者に事前に十分に説明して了解を得た上で、支援計画に記載する。	引き続き、適切な取り扱いを行う。